

第 676 回 新潟放送番組審議会 議事録

— 議題 —

テレビ番組

「つながる一食～OHANA食堂」

放送日時

2022 年 3 月 20 日（日）

5 : 45～6 : 15 放送

令和 4 年 4 月 27 日

**BSN**新潟放送

## 第 676 回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 令和 4 年 4 月 27 日（水）午前 11：00～

2. 開催場所 新潟市中央区 新潟放送 6F 会議室

### 3. 委員の出席

○委員側出席者（敬称略・順不同）

|     |        |      |        |
|-----|--------|------|--------|
| 委員長 | 古賀 豊   | 副委員長 | 佐藤 元   |
| 委員  | 渡邊 信子  | 委員   | 広川 和義  |
| 委員  | 三井田 由香 | 委員   | 石坂 智恵美 |

○審議番組事前レポート提出者

|    |       |    |        |
|----|-------|----|--------|
| 委員 | 馬場 幸夫 | 委員 | 大橋 未来子 |
| 委員 | 佐野 哲郎 |    |        |

○放送事業者側出席者

|         |        |       |       |
|---------|--------|-------|-------|
| 社長      | 佐藤 隆夫  | 専務取締役 | 島田 好久 |
| メディア本部長 | 五十嵐 幹史 | 編成局長  | 井上 智美 |
| 情報センター長 | 小湊 潤   |       |       |

<説明員> 情報センター報道部 青木 愛美

事務局 金山 英功（編成局テレビ編成部部長）

### 4. 議題

1 報告事項 「青少年に見てもらいたい番組」について  
「放送番組の種別と種別毎の放送時間」について  
令和 4 年 5 月の番組について（各担当）

2 審議事項 テレビ番組  
「つながる一食～OHANA食堂」  
（放送日時：2022 年 3 月 20 日（日）5：45～6：15 放送）

### 5. 議事の概要

佐藤社長のあいさつの後、編成局から「青少年に見てもらいたい番組」、「放送番組の種別と種別毎の放送時間」の報告、各担当からの 5 月度番組報告に続いて、テレビ番組「つながる一食～OHANA食堂」について審議が行われた。

～番組審議委員の主な意見～

○板倉さんの強い思いが笑顔とともに伝わった。

ここに至る経緯も知りたい。

○毎週 120 食作るボランティアの使命感がすごい。

○「OHANA 食堂」名前の由来は？何故会津にもあるのか？

○「こどものいばしょ応援プロジェクト」はどんなプロジェクトか？

○この番組をきっかけにこども食堂の存在を知り、またこども食堂を運営しよう・協力しようという方が出てくるのではないかと思う。

○伝え方が難しいテーマではあるが、こども食堂は話し相手になったり、助け合い、支えあいながら温かな気持ちでこどもや親に寄り添う場でもあると感じた。

○板倉さんの孤軍奮闘ぶりが際立っていたが、活動の継続性（行政との連携や、ボランティア、資金・・・）はどうなのか？

○活動を通し、様々な家庭の現実を知った。中でも会津のエピソードは重かったが、こども食堂がそこまで手を差し伸べるべきなのか？

○全体的に情報が少ない。「思い」は伝わったが、運営の失敗などの課題も当然あるはず。

～新潟放送 情報センター報道部 青木愛美より～

お忙しい中、丁寧に番組をご審議頂きありがとうございました。番組を通して、子どもたちや子育て家庭を助けたいと奮闘する OHANA 食堂代表の板倉さんの熱い思いや子どもたちとの温かな関わり合いが伝わったようで、大変うれしく思います。ウイルス禍で子ども食堂の役割が一層増していく中で、活動を継続させていくためには何が必要か、抱えている課題などをさらに掘り下げ、今後も伝えていきたいと思えます。

また、「こどものいばしょ応援プロジェクト」の伝え方など、貴重なご意見を頂きありがとうございました。今後の取材活動、番組作りに生かしていきたいと思えます。

【文責・番組審議会事務局】